

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価の調査項目です )

取り組んでいきたい項目

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームの運営理念を各スタッフで考え、意見を出し合い、グループホーム独自の運営理念をつくりあげ、最終的に「和」という理念を作り、私達の最終目標 = 理念としている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングや毎日の日報提出の際などを利用し、運営方針や目指すべきものを日常的に話す機会を設けるよう努めている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ホームの分かりやすいところに明示している。本年度に於いては、運営推進会議を通じ、自分たちでつくりあげた理念を改めて紹介させていただく機会をもつことができた。		地域の理解や関心が更に深まるよう、市町村や地区への広報活動に取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	個々にあわせた散歩や買い物など、外出の機会を設けるようにしている。回を重ねる毎に町角で会う方々と顔見知りになったり、挨拶を交わしたり、声をかけて頂くことも多くなり、少しずつ地域との交流が広がってきている。また、偶然外出先でご利用者の知人に会った際など、訪ねて来られることもある。		これからも、グループホームがどういう所か知ってもらえるように外出の機会を大切にしていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元大川市協賛の市民夏祭りでは地域の商工会や町内会などと連携しながら、企画・運営を行なっている。近隣のDサービス事業にボランティアとして参加させていただく中で、地域の自治会と交流できるきっかけづくりへと発展させることができた。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	定期的に介護教室などの啓蒙活動を行い、地域の皆様への参加を促している。利用者の家族の参加も多くなってきている。将来的には、非常時の緊急避難場所としてのホーム機能の還元なども実現したいと考えている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善計画を立て、評価を重ねていく毎に、自分達のホームに対する客観性と自己評価への補強となっている。		まだまだ評価を構えがちである部分も少なくない。もっと評価を当たり前のものとして日常的に取り組んでいけるようになりたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いの他、防災訓練・家族交流会などのイベント時に会議を行ない、実際にどのようなことをしているのが見てもらっている。		運営推進会議の質をさらに向上させ、より良い話し合いができるよう努めていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	適時、市町村と連絡・相談し合い、サービスの質の向上に取り組んでいる。認知症サポーター育成講座などの取り組みを連携している。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員の目につく所に掲示し、意識付けを図っている。定期的に勉強会、研修に参加し、学ぶ機会をもうけている。必要に合わせ利用できる体制をとっている。		今後もミーティング等の機会を利用し勉強会を行ったり、講習会等があれば積極的に参加し、常に職員への意識付けを図っていきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会などに参加し、虐待に関する知見を深めるようにしており、マニュアルに基づきながら、各個人に応じた対応に努めている。		マニュアルのみに留まらず、「利用者がどう感じるか」「自分だったらどうであるか」の立場になり、より広い視点でのケアが行えるように

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居前、あるいは入居後の利用者、家族への説明は出来ていると思う。また、疑問点、意見などがある場合はその都度対応している。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時に苦情の窓口を設置し、家族、利用者の意見を反映している。利用者が不満・意見・苦情を表せるように常に気を配り、利用者の声に耳を傾けている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族来訪時に最近の様子等報告している。ご家族によっては1週間に1回、や1ヶ月に1回の報告になることがある。また、状況に合わせ電話での報告も行っている。</p>		<p>どの家族へも同じ期間での報告が出来るようなツールを考えていく。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>随時、個人・または各ユニットの意見として、意見や提案を聞く機会を設けている。ミーティングなどで意見交換を行っている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング等において、職員の意見や提案ができる機会を設けている。日常的にも都度、相談に応じ、皆で協議できるようにしている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事・イベント時の人員調整や外来受診時の人員確保等、調整に努めている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>出来ている。</p>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>幅広い年齢層のスタッフを採用しており、スタッフ間の関係も比較的良好に互いに研鑽している。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>日常的な会話・運営理念・研修を通し、人権に対する理解が深められるよう努めている。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修・勉強会等の機会を多く設けるようにしている。他のグループホーム職員同士の交流会(意見交換会)への参加。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホーム職員同士の交流会(意見交換会)への参加。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>定期的にスタッフ一人一人とコミュニケーション・面談を行ない、不安や悩みなど、ストレスを溜め込まないように努めている。</p>		
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>日常的な会話や適時の面接を実施。</p>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初期のときは出来る限り、コミュニケーションを図る機会をつくり、利用者本人から話を聴く機会を増やしていけるよう努めている。</p>		
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>来訪の際には、計画作成担当者、介護担当者を中心に、家族のどんな些細なことでも傾聴し、受けとめるようにしている。</p>		
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>努めている。</p>		
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用に至る前に、施設見学など、必要に合わせての面談の機会を設け、信頼関係の構築に努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活の中本人様の趣味、特技、昔のこと等コミュニケーションを通して学ばせていただいている。</p>		<p>いろいろな面に置いて「教えていただく」という姿勢を常に持ち、ケアにあたっている。実際、教えていただき勉強になることも多々あり、日々の暮らしに反映できるように心がけている。</p>
30	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>介護計画を定期的に説明したり、来訪の際には近況報告を行うようにしており、家族に本人の現在の状況を把握してもらえるようにしている。</p>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時に、本人の近況報告を行い、グループホームでの生活を家族にも理解していただけるよう努めている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な範囲内でご家族の協力も得ながら対応している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係把握は、ある程度できている。体操・食事・行事等利用者同士一緒に行えるよう支援している。		「この人は嫌」「あの人は苦手」と思われている利用者もおられ関わり合いが少し難しい部分もある。「嫌」「苦手」の意識が少しでも減るような配慮が必要である。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要に合わせ行っている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1.一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご自分で意向を伝えられる方には希望等を伺っている。意思表示が困難な方についても、スタッフがご家族と話し合い、よりご本人の意向に近づけるよう検討している。本人からの情報、家族からの情報、それぞれ意向を把握し、本人主体で決められるよう支援している。		
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期アセスメントの際に、大まかな部分を把握し、後は本人や家族に入居される前の様子等を伺い、経過の把握に努めている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1日1回のバイタル測定や、個別での散歩、手工芸、洗濯物たたみなどを行っており、一人一人の現状の把握に努めている。日常生活の様子や、目だった言動、行動があればスタッフ間で共有し、グループホームでの生活をよりよいものにしていけるよう支援している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	必要な関係者と連絡をとり、利用者主体のプランになるように努めている。家族の希望や必要機関からのアドバイス等、様々な意見を踏まえた上で介護計画を作成している。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状況、状態に合わせその都度カンファレンスを行ない、新たな介護計画(更新)を作成している。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の様子や変化を記録に残し、ケアに繋がるよう取り組んでいる。		職員の気付きが、より確実に記録に残り、その情報共有がより確実になされるよう、申し送り等の時間を活用し、質の向上を図りたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の希望に合わせ、家族と共に食事ができるよう個別に居室で食事ができるよう支援したり、宿泊室を使用し共に宿泊できるよう支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の消防署協働による総合防災訓練を実施している。		今後も周辺資源の把握に努め、日常的に利用者、職員が訪れる機会をつくり、認知症やグループホームに対する理解と協力を得ることができるよう働きかけていきたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入居前後の継続的なケアの確保。入居後の地域での多様な資源を活用した暮らしと、退居時の支援等、あらゆる段階で他サービス事業所と相互協力を図っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現段階では対応事例はないが、必要に合わせ対応できる体制をとっている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	出来ている。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に合わせた協力医療機関を確保できている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームの看護職員に日常の健康管理等についての相談をしている。		
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	管理者を窓口としてメディカルソーシャルワーカー、家族との情報交換にも努めながら調整を図っている。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状況に合わせ、ターミナルケアについて、家族、主治医、管理者、介護職員等を含めた話し合いの場を設け、今後の介護方針について検討する場を設けている。		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	出来ている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者、家族の意向を踏まえながら退居後の生活環境や介護の継続性に充分配慮し、退居に必要な援助を行なうようにしている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録(個人カルテ等)は鍵付きの棚に保管、管理している。見守りのため、取り扱いに配慮しながら共有スペースで記録を行なっている。		
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	思いや希望を伝えることがあまりない方については、「はい」「いいえ」で答えられるような声掛け、問いかけをし、出来る限り自己決定できるようにしている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人一人のその日の状態に合わせた支援を行なっている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	近隣の美容室や、入居前に行かれていた馴染みの理容室へ行けるよう家族と協力しながら行なっている。利用者の入居前の生活を十分にアセスメントを行ない、一律な支援にならないように支援している。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に食材を切ったり、つぎ分けをしたりしている。また、味付などどのようにしたら良いか尋ね、利用者からアドバイスを頂いたりもしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の病状にもよるが、利用者・家族の希望に合わせ、主治医へ相談の上、出来る限りの支援を行なっている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者の自尊心を傷つけないよう注意しながらトイレ誘導の声を掛けをおこなっている。また、一人一人の排泄パターンや下剤の使用頻度など把握し、支援している。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人一人の入浴パターンを把握した上で支援を行なっているが、入浴の曜日や、おおまかな時間を決めておられるのが現状である。曜日や時間帯はおおまかに決まってはいるものの、可能な限り入浴の希望やタイミングは本人に尋ねている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼活動して、夜休むという、あたりまえの生活が営めるように、可能な限り日中帯の活動が増えるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩や体操(リハビリ)、手工芸、洗濯物たたみなど、利用者一人一人に合った役割や楽しみごとを提供している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望や力量に応じた金銭管理支援を行なっている。自己管理が困難な方に対しても、その代替方法を家族と相談し、定期的にその出納を報告。買い物の際は本人が金銭のやり取りが出来るよう支援している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物プランに入れている方は、比較的外出されている。その日の外出希望についても、本人・家族と相談しながら外出ができるよう支援している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>家族と相談・協力しながら、出かけられる機会づくりを行なっている。</p>		
65	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者の希望に応じて支援している。現在では、ご自分で家族との連絡手段(携帯電話)をもたれている方もおられる。ご自分で携帯使用され家族に電話されることもある。</p>		
66	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>居室での談話、家族宿泊室による宿泊や食事等も提供できる体制である。囲碁仲間など、入居前、お付き合いのあった方が来訪され囲碁を楽しまれることもある。。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
67	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が身体拘束の内容と、その弊害を認識している。やむを得ない場合もその代替性について検討している。</p>		
68	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関に鍵をかけないようにしているが、扉に執着される方や、帰宅訴えが強く聞かれる場合は、鍵をかけることもある。</p>		
69	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>日中のこまめな見守り、夜間の定期的な巡視を行い、所在確認や状態、様子把握に努めている。日中、基本2時間おきの見守りを行い、異変の早期発見に努めている。</p>		
70	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>はさみなど、先がとがっている物から丸いものへの変更等、工夫している。</p>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者様も含めた防災訓練を定期的実施。「ヒヤリハット」励行。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	医療連携体制の導入。グループ内の診療所(24時間体制)によっても、緊急時対応は確立されているが、看護師、医療職に頼る面が多く緊急時の対応に不安を抱えているスタッフも少なくない。	○	勉強会等を定期的に行い、その知識が実際に活かせるものとなるよう取り組んでいきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災訓練(日中想定、夜間想定)を年2回実施している。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	日常的に近況報告はもとより、状態の変化や異変の発見に努め、チームでリスク対応に関する情報を家族と共有している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルサインを測定し、異常がある場合、時間をあけて再検し状態の変化を把握できるよう努めている。普段と様子が違う場合はスタッフ間で話し合い、管理者、看護師、医療機関へと相談するような体制をとっている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	家族や医師との連携を図りながら、使用薬剤の適切な見直しを行なっている。用法・効用等についても概ね把握出来ている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	身体を動かしたり、水分を多く摂取していただく等行なっている。また、必要に応じて温タオルによる腹部マッサージ当を行い、便秘にならないような取り組みを行なっている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	利用者の生活暦に応じて口腔の清潔保持を行なっている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量に特に観察が必要な方に対して、それを可能な限り補う支援を行なっている。(補食、水分の記録など)		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルに基づき実行している。インフルエンザの予防接種などは、利用者(家族)の意向を確認しながら受けていただき、予防に努めている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理マニュアルに基づき行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者・家族等の意見を採り入れながら、玄関に季節の花を飾り、ベンチを置き利用者が座って花を観賞できるようにしている。誰でも入りやすい雰囲気 of 玄関作りに努めている。通りかかる際に「きれいね～」と感動される利用者もおられる。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の装飾(鯉のぼり、クリスマス、さげもん)を行い、季節感を味わって頂けるよう工夫している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやベンチをフロア内に配置し、好きなところで過ごしていただけるよう工夫している。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前(入居前)から使用されていた、布団、テレビ、タンスなどを使用して、本人がの以前と変わらない生活に極力近づけるよう配慮している。ご本人様、ご家族様から情報を収集し、ご本人様と相談しながら居室内の整理を行っている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	午前、午後と1日2回の換気を行なっている。また、お部屋の状況に合わせ、個別的に消臭プランニングを行なっている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下に手すり、バリアフリーなつくりは勿論のこと、出来る限り車イスやシルバーカーなどの邪魔にならないように広く、スペースを確保している。新聞受けを設置し、運動も兼ねご自分で取りに行けるよう本人と話し合っている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	アセスメント表を使用し、一人ひとりのわかる力が全職員に把握されるよう努めている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外を散歩したり、ベランダから外を眺められる方もおられる。ベランダに花壇を作り、花を植えている。天気がいい日には、入居者数名でベランダに出て外を眺めたり、花壇の花を眺めたりしている。		

番号	項目	取り組みの成果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
<b>. サービスの成果に関する項目</b>			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	数日に1回程度
		<input type="checkbox"/>	たまに
		<input type="checkbox"/>	ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない